

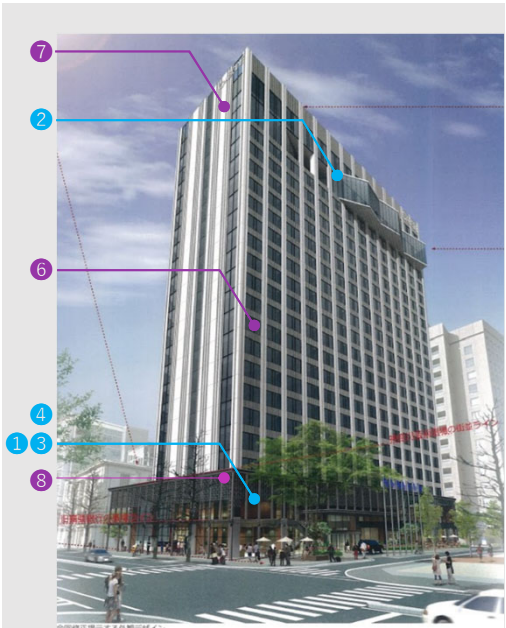
審議状況
 第 2 6 回



主なポイント
 指摘事項

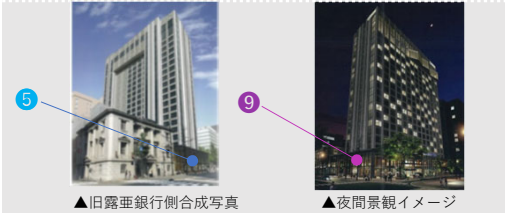
A. ファード 全体	① 全体に白でオフィスピルのようなため、ハイグレードなホテルにふさわしいデザインにすべき
B. 頭頂部	② 頭頂部のでっぱりが唐突であり要検討
D. 中層・低層部	③ 列柱のデザインをより精緻に工夫すべき
I. その他	④ - KAATの金属円柱に呼応する等、デザインを工夫すべき ⑤ - 旧露亜銀行との対比を明確にしてほしい

第 2 7 回

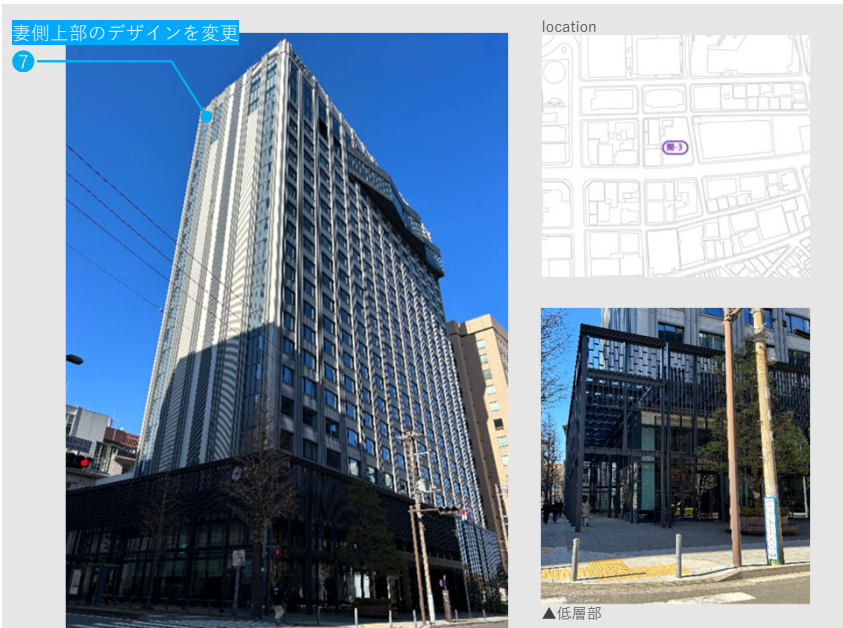


指摘事項 / 対応状況

①低層部のデザインをハイグレードなものに変更 ⑥低層部と上層部のコントラストが強すぎる	
②縦のラインを強調し、緩和されたたデザインに変更 ⑦妻側上部はサインだけではなく、工夫をしてもよい	
③低層部デザインをアイアンワークを用いたものに変更 ⑧ロジャのようなゾーンが公共性のある空間を強調 ⑧ロジャには屋根があった方がよい	
⑨ロジャ内の上部が少し光るなどの演出をしてもよい	
④アイアンワークの仕上げは、芸術劇場を合わせるように配慮 ⑤露亜銀行を対比的に引き立てるアイアンワークデザインとした	



現 況



景観形成の考え方

居心地の良い広場設計と露亜銀行と調和するファサードの洗練 柱や囲いにより歩行者の居心地を考慮した計画がされており、広場ではベンチやテーブルの設置、シンボルツリーの植栽、デザインされたアイアンワークを用いて繊細さと格調高さを表現しています。拡張高さが表現されたファサードは、露亜銀行と調和しつつ、横浜の名所となる可能性を持つ洗練されたデザインです。
露亜銀行を引き立てるホテルの照明と頂部の海景観を連想させるデザイン 露亜銀行のライトアップを阻害しない落ち着いたホテルの照明と、低層部のアイアンワークによる上品な陰影が特徴です。また、頂部のデザインは、低層部の繊細さと格調高さに対し、斬新さと海への眺望を連想させる面白さを持ち、評価されるデザインです。
煩雑さを避けたホテル背面及び中層部のシンプルかつ高級感あるデザイン ホテルの背景は、建物の「裏」側の煩雑さを避けるための配慮がされています。中層部の設計は、低層部や高層部のデザインに比べてシンプルにまとめられており、圧迫感を抑えつつ落ち着きやグレード感がある表情がつけられています。ホテルエントランスには、48番館通りまでアイアンワークを延長させることで高級感が表現されています。

審議経緯

審議 26（2015年11月2日）

【ファサード全体】

- 外観は、ハイグレードなホテルにふさわしい落ちついたものにしてほしい。①
- 外壁は、オフィスビルのように見えないような工夫をしてほしい（余り白くならないように）。①
- 短期間でつくるのではなく、横浜の顔になる、非常にポテンシャルの高い場所にふさわしいものをつくってほしい。

【頭頂部】

- 頂部が、現在出っ張っているところが少し唐突なようにも思われるので、遠景から頂部がどのように魅力的に見えるか検討してほしい。②

【中層部】

- 本町通りの向かい側からよく見え、中層部が目に入るため小口面をしっかりデザインしてほしい。中層部はシンプルに、グレード感を出しながらも頂部と低層部を引き立てる3層構成ができるといい。
- 中層部の壁面のオフィスのような形態は、関内のこのエリアではどうか、もう少し工夫しても良い。

【低層部】

- 列柱空間については、例えばライトアップの色合いやバナー等で、旧露亜銀行も含めた連続性を演出する工夫の必要があると思う。③
- 後ろの柱割りで列柱や柱廊をつくることで、うまく対比と連続を形成するような工夫ができると良い。③
- 後ろに高層のビルがあるので、列柱のデザインをより精緻に対応してほしい。

【広場】

- 広場空間に関しては、48番館通りに合わせてにぎわいをつくっていくという、非常に良いデザインだと思う。
- 広場も柱廊空間との関係について検討する余地がある。

【KAATとの関係】

- 神奈川芸術劇場との連携について配慮してほしい。
- 芸術劇場との間の通路を上手に使ったエントランス計画は非常にうまくいくのではないか。
- 4 8 番館通り側は、KAATの4 8 番館通り側の金属を塗布した円柱に応答するものがあると良いのではないか。④
- K A A Tに面したホテルのエントランスの部分が現在の計画では水平なキャンノピーがあるだけなので、格式の高いホテルエントランスという位置づけで、もう少しデザインをスタディしてほしい。

【旧露亜銀行との関係】

- 旧露亜銀行と、本町通りを考えると、低層部のしつらえのあり方は非常に気を配る必要がある。
- 旧露亜銀行の背景となってしまう増築増築棟の階段部分のしつらえや素材について、検討してもらいたい。
- 旧露亜銀行との対比を明確にしてほしい。⑤
- 旧露亜銀行と連続したものにするならば、そういったデザインに変更してほしいが、もしできないのであれば、色調は旧露亜銀行に合わせるものの、思い切って旧露亜銀行とは違うものを計画する、その二択しかない。
- きちんと新旧が分かるものにするということが大前提。

審議 27（2015年12月25日）

【ファサード全体】

- 上部との対比は、色彩のコントラストが強過ぎるので、落ちつきを持った対比になるよう留意してほしい。⑥
- 48番館から見えるホテルのファサードのガラス面上部の帯状のラインに少し筋が入っているのは、見え方に大きな影響を与えるものなので、きちんとした協議を重ねていってほしい。
- 歩行者空間の意匠がグレードアップしたことで、建築全体としての統一感が減少した。

【中層部】

- 上部は、縦ラインを強調したデザインに変更し、宴会場のレイアウトも変更し、平面計画が外側ににじみ出ているという、アクセントがあってよい。
- 本町通り側のファサードが縦線だけで寂しいので、上部が別の素材で表現されてもいい。
- 色彩が白過ぎる。ここを見て泊まりたくなるホテルとして認識されることも非常に重要である。
- 造形的には縦の垂直のストライプが強調されているので、低層部の水平のラインとの間に非常に大きなギャップが出ているので、今後検討してほしい。
- 妻側の最上部のところも、サインがあるだけではなくて何か素材とか変化をつけてもよい。

【低層部】

- 特に下部の明度の選択は重要で、極端に濃くならないほうがよいかと思うが、さらに隣地にもつながるおもしろい魅力が形成されるのではないかと期待。
- 下部のアイアンワークを用いたファサードのつくり方については評価する。
- 低層部のアイアンワークを強調することによって本町通りと48番館へ回り込んでくるゾーンが前よりはるかに強調されて、メインエントランスに向かっていくルートがイメージできやすくなった。
- ロτζシアのようなゾーンをつくることによってオープンカフェが効果的に使えるし、この角がより公共性を持ったゾーンになるというのは楽しみ。
- アイアンワークの材質とクオリティを間違えると、安っぽい足回りになるのが怖い。
- アルミのカーテンウォールやルーバーと、アイアンワークのラインのバランスが想像がつきにくいが、重要な要素である。
- パーゴラ部分も暗くならない程度に屋根がかかっていたほうがよい。歩行者の通行に影響を与えない範囲で屋根をかけていく。⑧
- パーゴラのところに屋根がかかると、カフェの部分がうまく演出しないと影がちになり、街の中によい効果があらわれてきにくい。パーゴラをとって、ダブルの並木にしていくといったことも考えてよい。
- 部分的にも何か雨をよけて歩けるところが外壁側にあったほうがよい。
- パーゴラの梁や格子など、インパクトがあると思うので、デザインは引き続き検討してほしい。
- バス停もあるので、少したまれるような場所があるとよい。

【夜間景観】

- 夜景演出は、単に内側の光がにじみ出るだけではなくて、このロτζシア内の上部が少し光るとか、演出してもよい。

【植栽・ランドスケープ】

- 大きな木をきちんと育てて、まさにシンボルをつくっていくとよい。ただケヤキという樹種が良いかはまだわからない。

【旧露亜銀行との関係】

- 旧露亜銀行側の階段部分がまだ裏側に見えるので、旧露亜銀行側からの風景としても魅力的にできるかが課題。

基本情報

開発概要	
建物名	ハイアットリージェンシー横浜
住所	中区山下町280番
用途地域	商業地域（80％/600％） 第7種高度地区、防災地域
まちづくりに関する制度	山下町本町通り地区計画
敷地面積㎡	3,307.41
⑥建築面積㎡	2,314.8
⑦延床面積㎡(建築物全体)	25,456.73(29,398.91)
⑧容積率(%)	769.68
⑨建蔽率(%)	69.99
⑩階数	地上22階、地下1階
⑪最高高さ(m)	74.8
⑫用途・機能	ホテル
事業者	
①事業者	(株)大和地所、(株)ケン・コーポレーション
②設計者	(株)国建
③施工者	(株)フジタ横浜支店